

平成28年度 第1回鎌ヶ谷市消防委員会会議録

- 1 開催日時
平成28年7月6日（水）午前10時00分から午前10時40分まで
- 2 開催場所
消防本部3階会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員 鈴木定夫委員（委員長） 長瀬正久委員（副委員長）
小宮山節子委員 篠田利恵委員
若槻恵子委員 澁谷誠幸委員
 - (2) 事務局 川上英明消防団長 皆川宏幸消防長
鈴木信彦参事（事）次長（事） 消防総務課長
相川昇副参事（事）予防課長 佐藤俊一警防課長
矢ノ目健二消防総務課主幹 松下晃通副主幹
湯浅貴朗主査補
- 4 議題
 - 議案1 平成28年度事務事業進捗状況について
 - 議案2 消防概況について
- 5 傍聴者 なし
- 6 会議の公開 非公開について
公開

7 発言の要旨

- 消防総務課長 平成28年度第1回消防委員会会議開会を宣言した。
阿部万重里委員の辞職に伴い篠田利恵委員が委嘱されたことを報告した。
- 鈴木委員長 挨拶
- 川上消防団長 挨拶
- 消防長 挨拶及び不祥事案お詫び
- 消防総務課長 消防委員会条例第5条第4項による会議成立を報告、傍聴の申し出がなかったことを報告した。
消防委員会条例第5条第3項の定めにより委員長が議長を務める事を伝えた。
また、委員の変更に伴い会議録署名人1名の互選をお願いした。
会議署名人 小宮山委員（既署名人 澁谷委員）
※任期中は継続
議長へ進行をお願いした。
- 鈴木議長 議案1平成28年度事業進捗状況について説明を求めた。
事務局 議案1平成28年度事務事業進捗状況について、消防予算、職員研修、施設等、火災予防、救急救命、消防団について説明した。
- 鈴木議長 議案2消防概況について説明を求めた。
予防課長 最近3カ年の火災状況について説明をした。
警防課長 最近3カ年の救急出動件数、傷病程度別搬送人数の説明をした。
鈴木議長 各委員に質問を求めた。
小宮山委員 資料4ページに記載されている火災予防ポスター展について昨年の実績や各賞の選考方法について教えてください。
- 予防課長 火災予防ポスター展は、市内の小中学生から安全で安心な住みよい街づくりを推進するため、制作過程を通じ、防火の理解を深めるとともに、広く防火思想の普及啓発を図ることを目的として、昭和55年度から実施しているもので、今年度で37回目を迎えます。
平成27年度の実績や各賞の選考などにつきましては、市内小中学校13校の児童、生徒から949作品の応募があり、学校学年ごとに選ばれました53作品が火災予防ポスター展に出展されました。
作品の選考につきましては、市教育委員会（学校教育課指導室）及び消防本部予防課職員によりポスターとしての評価、デザイン性及びアピール度を選考基準として厳正に審査し、優秀賞、金賞及び銀賞の各賞を選考しております。
平成27年度優秀賞を受賞された小学生1名、中学生1名の2名は、11月11日に市長応接室にて市長より表彰伝達を行い、その模様を市HPに掲載したところでございます。
当日は保護者も同席され大変喜んでおられました。
なお、現在も予防課各課ページ内掲載中です。
また、出展されました53作品は、秋季火災予防運動期間に併せ、イオン鎌ヶ谷ショッピングセンターに展示し、多くの市民や来店者などにご覧いただきました。
- 篠田委員 資料2ページの職員研修に記載されている救急振興財団、指導救命士養成研修、九州研修所とありますが、この研修は九州以外では開催していないのか伺います。また、このほかにも地方のみでしか開催していない研修があるのかについてもご説明願います。

消防総務課主幹 ただいまご質問いただきました指導救命士養成研修の開催地についてご説明申し上げます。

救急振興財団の研修所は東京都八王子市にある東京研修所と福岡県北九州市にある九州研修所の2か所にございますが、指導救命士養成研修は平成26年度から開始された研修で、現在九州研修所のみ行っている研修となっております。

この理由につきましては、東京研修所は6ヶ月の新規養成研修を年2回開催しておりますが、九州研修所は年1回の開催です。このことから、東京研修所での開催が実質できない状況にあり、九州研修所のみで開催となっているものです。

研修期間は約43日間、負担金は324,000円でございます。

指導救命士養成研修の概要でございますが、救急救命士が行える処置については、日々多様化しており、医師と救急隊員の連携は必須であります。このため、救急救命士の知識及び技術についても常に向上していかなければならないことから、救急隊員の行う救急活動全般を教育指導する役割を持たせた指導救命士を配置し、更なる救急業務の質の向上を図るものでございます。

現在、指導救命士の養成研修には3名の職員を派遣しています。

つづきまして、2つ目のご質問、地方のみでしか開催していない研修についてご説明申し上げます。

近隣で受講できない研修としましては、茨城県ひたちなか市にあります安全運転中央研修所の消防・救急緊急自動車運転技能者課程がございます。

この研修は、資質の高い運転者や運転指導者を育成する、全国で唯一、総合的な自動車安全運転教育施設を使用し、実技と理論が一体となった実践的、専門的、かつ高度な安全運転研修です。

緊急走行時の安全運転技術を磨くとともに、事故防止を図る目的として職員を派遣しております。

この他に、2泊3日で開催されますテクニカル・ロープレスキュー・テクニシャン講習がございます。

この講習は、峡谷や崖、あるいはビルや鉄塔、地下道や洞窟など、足場が不安定で高低差がある場所で、ロープを使用した組織的なレスキュー活動を行う際に必要となる知識や技術、または安全の確保を学べるもので、救助者に必要となる救助法を習得する研修でございます。

この様に、職員研修の中には遠方へ出向かなければ受講できない講習もございますが、消防活動においては多種多様な災害事案に対応するため、様々な研修の受講が必要です。今後も継続的に職員を派遣し、鎌ヶ谷市消防のレベルアップを図っていきたいと考えております。

以上です。

長瀬副委員長

資料6ページに記載されている救急救命推進証についてですが、実際に、交付事業所においてAEDを使用した救命処置が行われた事案はあったのか伺います。

警防課長

救急救命推進証の交付事業所における、救命処置が行われた事案についてでございますが、本年4月13日、鎌ヶ谷カントリー倶楽部内でゴルフプレー中の男性が突然倒れ心肺停止状態になり、その場に居合わせたキャディーさんと従業員が協力し、迅速な119番通報、AEDによる電気ショック、心肺蘇生法などの応急手当を行い、救急車

が到着した時は心拍、呼吸が再開し、その後病院に搬送されましたが男性は後遺症もなく、無事に社会復帰された事案がございました。

鎌ヶ谷カントリー倶楽部は、救急救命推進証交付事業所としてキャディーさんなど、従業員86名が普通救命講習を受講済みで、AEDについてもクラブハウス、コース内の売店に設置しており、今回その救命に対する取り組みが功を奏し救命につながったものでございます。

若槻委員

先日、自治会の回覧で感震ブレーカーのチラシが回ってきましたが、感震ブレーカーとはどういうものなのか。また、何のためにチラシを回覧しているのか教えてください。

予防課長

まずは感震ブレーカーについてご説明いたします。大地震発生時、電気による出火を防ぐためには、電気の供給を遮断することが効果的です。しかし、外出時や自宅から避難する際、とっさにそのような行動がとれるとは限りません。感震ブレーカーは設定値以上の地震発生時、おおむね震度5強以上が発生しますと自動的に電気の供給を遮断し、電気器具の転倒による火災や停電後の電気復旧時に発生する通電火災を防止する装置です。

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災では、285件発生した火災のうち出火原因が不明なケースを除き約61パーセント(85/139件)、さらに平成23年3月に発生した東日本大震災では、330件発生した火災のうち65パーセント(71/110件)が電気を起因とした火災と言われております。

しかしながら、感震ブレーカーについては、まだまだ市民の方々に認知されていないのが実情です。消防本部としまして、今回実施しました自治会班回覧をはじめ、ホームページや消防訓練、自主防災訓練、市総合防災訓練、消防広場等の各行事を通じ、減災対策の1つとして、感震ブレーカー設置の普及啓発活動を進めていきたいと考えております。

澁谷委員

女性消防団員についてお伺いします。平成27年度に消防団女性部が発足して1年が経過しましたが、これまでの活動状況や今後の活動についてお聞かせください。

警防課長

女性消防団員の活動についてお答えいたします。

平成27年4月に女性部11名が発足してから、昨年度は消防団合同訓練等において消防団活動の基礎となる規律訓練や、防火指導要領の習得を行うとともに、鎌ヶ谷市総合防災訓練や消防広場等の各種行事に参加し、火災予防広報及び消防団のPR活動を行ったほか、横浜市で行われました全国女性消防操法大会の視察研修や消防出初式などに参加をいたしました。

また、昨年度末からは、消防団が参加する自治会の自主防災訓練に女性消防団員も参加しており、今後につきましても男性団員とともに、消火器取扱いの要領や煙体験などの防火指導を行っていく予定でございます。

さらに、本年6月には3日間の応急手当指導員講習を受講し、救命講習の指導者としての資格を取得しました。今後は、毎月実施している普通救命講習などに指導員としての参加や、9月3日にちばコープ鎌ヶ谷店で開催予定の救急フェアにも参加し、応急手当の普及啓発活動を行ってまいります。

このほか、引き続き各行事に参加し、火災予防広報や消防団PRを

行い、地域防災力の向上を目指し活動をしていく予定でございます。
女性部の参加率を参考に教えてください。

澁谷委員
警防課長
自主防災訓練には4名、応急手当指導員講習には10名が参加いたしました。

鈴木議長
事務局
議案、質問等が無いため、事務局へ連絡事項を求めた。
平成28年度第2回消防委員会開催の時間について平成29年2月上旬の予定であり、詳細については別途連絡する旨、連絡した。

警防課長
消防委員会の参加する消防団行事(出初式:平成29年1月7日(土)、消防団辞令交付式:平成29年4月1日(土))について連絡した。

鈴木議長
消防総務課長
議事を終了した。
平成28年度第1回消防委員会会議閉会を宣言した。

8 会議録署名人の署名

以上会議経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成28年10月21日

氏名 小宮山 節子

氏名 澁谷 誠幸